

2023年11月7日

関係各位

野村ホールディングス株式会社
コード番号8604
東証プライム市場・名証プレミア市場

今年も「PRIDE指標」にて最高位「ゴールド」と「レインボー」を同時受賞

野村ホールディングス株式会社(代表執行役社長 グループCEO:奥田健太郎、以下「当社」)は、「新たな価値を生み出すために、多様性を尊重し、組織や立場を超えて協働する」という企業理念のもと、社会課題の解決を通じた持続的成長を実現するため、ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン(以下「DEI」)を推進しています。

このたび当社を含む野村グループ7社は、職場におけるLGBTQ+への取組みの評価指標である「PRIDE指標2023」^{※1}におけるすべての項目で基準を満たすと評価され、最高位の「ゴールド」を受賞しました。野村ホールディングスは、「PRIDE指標」がスタートした2016年より8年連続で「ゴールド」を受賞しています。さらに、ゴールドを受賞した企業として、コレクティブ・インパクト型^{※2}の取組みが評価される「レインボー」も3年連続で同時受賞しました。

<PRIDE指標「ゴールド」受賞>

- 野村ホールディングス株式会社(8年連続)
- 野村アセットマネジメント株式会社(2年連続)
- 野村信託銀行株式会社(2年連続)
- 野村ビジネスサービス株式会社(2年連続)
- 野村バブコックアンドブラウン株式会社(2年連続)
- 野村プロパティーズ株式会社(2年連続)
- 野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社(初受賞)



<PRIDE指標「レインボー」受賞>

- 野村ホールディングス株式会社(3年連続)



今回の「レインボー」の受賞では、小冊子『LGBTQ+ユースのための自分らしいライフプランとお金の話』の制作と、それを活用した啓発活動^{※3}が評価されました。ライフプランやお金という切り口を通して、LGBTQ+当事者に立ちほだかる、社会における壁や困難を解消するための視点等についてLGBTQ+当事者のみならずアライ^{※4}にとっても、理解を深めるきっかけになればと考えています。

当社は今後も、LGBTQ+を含む多様なバックグラウンドを持つ社員が、安心してやりがいを持って働くことができる職場風土を醸成し、すべての人が安心して暮らしていくことができる社会の創造に貢献していきます。

当社のDEIの取組みの詳細については、当社[ホームページ](#)をご参照ください。

- *1 PRIDE 指標は、Policy（行動宣言）、Representation（当事者コミュニティ）、Inspiration（啓発活動）、Development（人事制度・プログラム）、Engagement/Empowerment（社会貢献・渉外活動）の5指標について評価項目を設定し、企業の取組みを評価したものです。
- *2 コレクティブ・インパクトは、「（企業や行政、NPOなどの）異なるセクターから集まった重要なプレイヤーたちのグループが、特定の社会課題の解決のため、共通のアジェンダに対して行うコミットメント」と定義されています。
- *3 2023年3月10日付ニュースリリース「[小冊子『LGBTQ+ユースのための自分らしいライフプランとお金の話』を発行](#)」をご参照ください。
- *4 英語のAlly（同盟、支援者）が語源。LGBTQ+ をはじめとする性的マイノリティを理解し、自分にできることは何かを考えて行動する支援者のことです。

以上